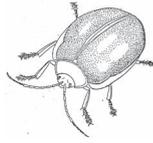


# たんぽう



## 兵庫県佐用郡でナマリキリガを採集

戸川元貴

筆者は2019年5月2日に佐用郡佐用町船越において、ナマリキリガ *Orthosia satoi* を1個体採集したので報告する(図)。ナマリキリガは日本固有種の春キリガであり、サクラ類で飼育されている。幅広い標高帯で得られているがどの場所においても個体数は多くはない。また2018年5月2日に市川町の播但連絡道路市川サービシエリアで採集されているため、本記録は兵庫県では2例目となる。今回の記録から土着の可能性が高いことが示唆される。



ナマリキリガ 佐用郡佐用町船越 2019年5月2日 筆者採集。

本個体は船越山瑠璃寺仁王門から墓地に続く道の途中の空き地で行ったライトトラップに24時頃に飛来したものである。時期的に少し早かったせいか飛来した蛾は少なかったが、本種の他にもアカバキリガやケンモンキリガといった春キリガやツマジロエダシャク、スカシエダシャク、チズモンアオシャク、ウスグロクチバなど早春から発生する蛾が多数得られた。

末筆ながら発表を進めていただいた脇村涼太郎氏、採集に同行して下さった人と自然の博物館の八木剛氏、池田大氏、吉水敏城氏、校閲とアドバイスをしてくださった阪上洸多氏に厚く御礼申し上げます。

### ○参考文献

坪田瑛, 2018. ナマリキリガを兵庫県市川町で採集. きべりはむし, 41(1): 27-28.

(Genki TOGAWA 洛星高校1年)

## 姫路市白鳥台と書写にてクロマダラソテツジミを撮影

広畑政巳

2019年10月22日に姫路市白鳥台の自宅庭のフジバカマに吸蜜に来た本種1♀の新鮮な個体を撮影した(写真)。また、2019年10月27日に姫路市書写においてソテツの葉に静止している本種の1♀を撮影しているので報告をする。



2018年9月13日にも隣接する姫路市打越で1♂を撮影したことは本誌で報告をした通りでこれで白鳥台周辺では3例目になる。姫路市の記録としては姫路市御着で2019年9月15日に市村健太郎氏によってソテツにいる本種の幼虫が確認されている(未発表)。

本種を白鳥台で撮影した翌日、白鳥台でソテツを調べたが、庭で栽培しているところは16箇所確認できた。しかし、ソテツでは新芽も食痕も幼虫も見つからなかった。また、書写でも4本のソテツがあったが食痕も幼虫も見られなかった。昨年から白鳥台近隣で細々と生き延びていたのか、本年御着などから拡散してきたものかは不明である。2019年は阪神間で本種が広く発生しており、明石まで分布を拡大していることが確認されている。明石姫路間の状態がどのようになっているか分からないが、今後どのように分布が広がるのか興味あるところである。

### ○参考文献

広畑政巳, 2018. 兵庫県姫路市打越でクロマダラソテツジミを撮影. きべりはむし, 41(1): 25.

(Masami HIROHATA 兵庫昆虫同好会)